

## 『新任者養成研修①～⑤』

### 【新任者養成研修①】

◇研修日：2021年10月2日（土）

◇テーマ：『医療制度改革によるMSWの業務』『医療費・生活相談-医療保険制度』

◇講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 榎本伸一氏、豊田厚生病院  
八木隆太氏

◇アンケート コメント紹介

- 「医療ソーシャルワーカーの元となる仕事が、1895年頃からあったことや、社会福祉の成り立ちにも大きく関係していることがわかった。医療費や、高額療養費、傷病手当について具体的によく理解出来た。新型コロナについてもタイムリーな内容で参考になった。」
- 「MSWの歴史や業務指針は初めて知りました。社会福祉士や介護支援専門員として求められている社会背景などは把握していましたが、診療報酬の見直しでさらに社会的に必要とされる役割を担う仕事だと改めて責任を感じました。」

### 【新任者養成研修②】

◇研修日：2021年10月23日（土）

◇テーマ：『医療費・生活相談-障害者・自立支援・医療証・特定・小慢』  
『医療費・生活相談-障害年金』

◇講師：愛知医科大学病院 森下祐一氏、佐藤病院 鳥海久美氏

◇アンケート コメント紹介

- 「障害者手帳や障害年金等の様々な障害の制度について学ぶことができたと感じる。ケース対応をする中で案内をしたことのある制度もあったが、理解が不十分で、あまり知らない制度があったため、理解を深め今後につなげていこうと感じた。」
- 「1回の研修では、覚えるのは難しく関連のありそうな分野を復習したいと思います。医療費助成制度に優先順位があることも知りませんでしたので、覚えていきたいと思いました。障害年金受給の等級を日本年金機構HPで確認して、介護保険制度前の若い世代の金銭面の相談にも対応できるようにしたいと思いました。」

### 【新任者養成研修③】

◇研修日：2021年11月6日（土）

◇テーマ：『医学知識』『退院援助-在宅』

◇講師：上飯田リハビリテーション病院 伊東慶一氏、名古屋記念病院 友松裕子氏

◇アンケート コメント紹介

- 「脳卒中や高次脳機能障害とは？といった業務内で実際に頻繁に関わる病気に関して学ぶことができた。業務を行う中で疾患に関する知識がないことがつまずく一つの壁だと感じている。このような研修を受け少しずつ基本的な医学的知識を増やしていこうと感じた」
- 「在宅の支援において、常に患者、家族を中心とした支援を組み立てることが大切であるということを学びました。実際に退院後の生活を送るのは患者、家族であり、クライアントの考えや気持ちはそのまま退院後の生活に直結すると思います。MSWはクライアントを側面的に介入する中で考えや思いをアセスメントし、在宅医療を支える関係機関に発信し、医療機関から在宅への橋渡しをしていくという役割を改めて認識しました。」

### 【新任者養成研修④】

◇研修日：2021年11月20日（土）

◇テーマ：『介護保険制度』『医療費・生活相談～生活保護』

◇講師：海南病院 安田薫氏、名古屋掖済会病院 林本隆幸氏

#### ◇アンケート コメント紹介

- 「退院時にケアマネジャーとのやりとりはしていたものの、加算算定の理解はあいまいだったため、勉強になりました。患者様を制度に当てはめるのではなく、患者様の生活歴や意向を理解し、患者様が望んでいる生活を実現するために制度を活用していきけるようになりたいと思います。」
- 「生活保護の申請は先輩 MSW が対応しているケースしかみたことがないので、実際自分が行うときには悩む問題の一つであると考えます。申請が必要でも本人が拒否するケースは多々あると思います。そのときに制度の概要を伝えるだけでなく、どうして拒否するのかを把握することが重要になると考えます。」

#### 【新任者養成研修⑤】

◇研修日：2021 年 12 月 4 日（土）

◇テーマ：『退院援助-相談のポイントとシステム化』『退院援助-転院施設の相談』

◇講師：公立陶生病院 水野大介氏

#### ◇アンケート コメント紹介

- 「医療でのソーシャルワークは初となり、現在一年経過しました。1 からの学びの日々でしたが、業務をある程度経験した後の研修では、業務で覚えたことを行っていることの再確認ができたり、新たな知識を得られたりと医療ソーシャルワーカーとしてどんな知識が必須なのかを教えて頂いた気がしています。」
- 「退院援助のポイントについて学ぶことができました。回復期病棟に入院している患者の保険上の入院最長期間が気になってしまい期限が近づいてくると、退院後の生活場所やサービス利用の手配等を急いでしまい患者本人や家族の意向を見逃してしまわないよう気を付けなければならないと思いました。患者・家族が望ましい環境で生活できるよう援助することを最重視して退院援助に取り組んでいきたいです。また、家族からの意向に傾きすぎず、目の前にいる患者本人の意思決定の尊重も合わせておこなっていきます。」

### 新任者養成研修会①～⑤を振り返って

委員長 外山弘幸

毎年 10 月より 8 回で実施をしている研修会を 2020 年度に引き続き、2021 年度もオンライン配信という形で実施をしています。2020 年度は 101 名の方が申し込みされましたが、2021 年度は 65 名と人数が少なくなりました。各医療機関で新任者の数が大幅に減ったわけではないため、この部分は分析が必要かと思えます。65 名のうち、47 名が愛知県医療ソーシャルワーカー協会会員で 18 名が会員外でした。また 65 名のうち、愛知県内に勤務している方が 53 名、県外が 12 名であり遠方から受講されている方もありました。

オンライン研修は YouTube により、8 回分の研修をそれぞれの研修日から 2022 年 2 月 12 日まで繰り返し視聴可能とし、受講生は個々の生活状況に合わせて自由に視聴することができます。実際受講生からは「わからない部分や聞き逃した際でも、何回でもリピートして見られるのでありがたい。時間帯も場所も問われないので、外出中でもスマホで見られるのは利点だと思う」という意見もある一方で、「貴協会以外の研修も今はオンラインが主流で便利で参加しやすいが、人と人との繋がりがしにくいためプラスアルファの感覚次元の学びは難しいような気もしています」という意見もあり、今後の運営についても検討が必要であると思っています。実際毎回のアンケート回答は 30 名弱であり、申し込みをしたものの十分受講できていない人もあるかと思えます。毎年委員長としてこの研修会を開催し、運営する立場として、8 回の研修会の準備に追われ、十分な講師の方へのフィードバックができていないことなど課題も感じています。それらの点について委員会委員と共に考えていきたいと思っています。